

## 平成 28 年 12 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 28 年 12 月 15 日（木）午後 3 時 30 分～午後 5 時 10 分

2. 場 所 市立公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 谷口 馨 委員長職務代理者 野口 和江 委員 中野 俊勝  
委員 河野 さおり 教育長 樋口 利彦

4. 事務局出席者

教育総務部長 小山 藤夫／学校教育部長 須賀 俊介／生涯学習部長 濱上 剛志  
総務課長 大西 謙次／学校給食課 山本 隆彦／学校管理課長 山本 千尋  
産業高校学務課長 古谷 利雄／学校教育課長 松村 慎治／人権教育課長 阪本 美奈子  
生涯学習課長 西尾 征樹／スポーツ振興課長 藪 嘉正／郷土文化室長 小堀 頼子  
図書館長 玉井 良治  
総務課参事 倉垣 裕行／総務課参事 高井 哲也

**開会 午後 3 時 30 分**

前回会議録について承認された。本会議録署名者に野口委員長職務代理者を指名した。

傍聴人 0 名

**○谷口委員長**

ただいまから、12 月定例教育委員会会議を開催します。

**報告第 88 号 子ども雑誌「ちゃぐりん」（月刊誌）の寄附について**

**○谷口委員長**

報告第 88 号 子ども雑誌「ちゃぐりん」（月刊誌）の寄附について、事務局から説明をお願いします。

**○山本学校管理課長**

報告第 88 号につきましては、子ども雑誌「ちゃぐりん」（月刊誌）の寄附についてです。

子ども雑誌「ちゃぐりん」（月刊誌）を 2016 年 12 月号から 2017 年 11 月号（換算額 162,720 円）までの 1 年分を全小学校に 1 冊ずつ岸和田市立小学校の図書館教材に使用のため、いずみの農業協同組合様より、11 月 11 日にいただきました。

J A の外郭団体で印刷を携わっています家の光協会のホームページから抜粋した資料を付けています。

**○野口委員長職務代理者**

家の光協会の「ちゃぐりん」は内容のある雑誌で、購読していたことがありますので、とても有難いことだと思います。月刊誌の場合、出版社や宗教関係の雑誌で販売の拡大を意図して寄附をされることもあるかと思いますが、その時に寄附を受ける基準などの線引きはあるのでしょうか。この雑誌は良いもので、子供たちにとっても良いと思います。

**○山本学校管理課長**

明確な基準はございませんが、販売目的などの場合、ご遠慮させていただくこともあると思います。

**○野口委員長職務代理者**

個別の判断になるということですか。

**○山本学校管理課長**

そうなると思います。

**○中野委員**

J Aグループの食の教育を進める子供雑誌で、PTA全国協議会の推薦をもらっている図書です。内容によっては、子供が夏休みの自由研究の材料にしたり、そういう活用方法もあるということです。そういう点でどんどん活用すれば良いと思います。

**○樋口教育長**

寄附を受ける基準の話ですが、教育委員会が後援名義使用の承認を出すときには、公正・公平などの基準がありますので、寄附についてもそういうことを考慮していければと思います。

**○谷口委員長**

ご寄附は、本当に有難いことです。

**報告第 89 号 第 23 回産業教育フェアの開催について（第 24 回デザインシステム科 卒業制作展）**

**○谷口委員長**

報告第 89 号 第 23 回産業教育フェアの開催について（第 24 回デザインシステム科 卒業制作展）、事務局から説明をお願いします。

**○古谷産業高校学務課長**

報告第 89 号につきましては、第 23 回産業教育フェアの開催について（第 24 回デザインシステム科 卒業制作展）です。

平成 29 年 1 月 20 日（金）から 22 日（日）まで、マドカホールで開催を予定しています。また、22 日につきましては、生徒自作デザイン衣装によるファッションショーを 13 時 30 分から 15 時まで予定しています。周知は、広報きしわだ 1 月号に掲載予定です。

**○野口委員長職務代理者**

去年、マスコミにも PR して宣伝したらどうかと話しをしました。いろいろな新聞社に連絡をして、ニュースせんなんで大きく取り上げてくれていて連絡した甲斐があったと話しをしました。産業高校の宣伝にもなり、内容も素晴らしいと思うので、そういう機関に連絡をして PR しては

どうかと思います。

#### ○中野委員

毎回、生徒の力作が展示されています。120点余りあるのですが、その内の外部から表彰を受けた作品が何点ぐらいあるのでしょうか。外部というのは、例えば、各種教育団体、自治体や大学などのコンクール、また、アパレルやテキスタイル企業関連の作品募集への応募などの結果はどうでしょうか。生徒は一生懸命制作していますので、学校として活かす取り組みを是非していただきたいと思います。そうすることによって、外部からの評価を得て紹介することで中学生へのアピールになるとと思います。

もう一点、デザインシステム科の成果の発表ということですが、産業高校は三学科あります。他の学科でも学習成果があるはずですので、三学科揃って発表が出来ないのかと思います。参考までに大阪府の産業教育フェアでは、去年も言いましたが、情報関連や商業科を持っている学校は、参加して展示しています。三学科ありますので、そういうことをきっちり伝えるべきだと思います。

#### ○古谷産業高校学務課長

ほとんどがデザインシステム科になりますが、産業高校の学科紹介も兼ねて僅かですが情報科と商業科の展示も行っています。

#### ○中野委員

産業高校としての学習成果を発表してもらいたい。

以前も話しましたが、ファッションショーで、例えばカーネーションで紹介されたコシノ氏の直接本人から指導はもらえないと思いますので、事務所から指導をもらうなどすれば話題性が出ますので、そういう工夫をすることでよりPRになるとと思います。単に報道だけではなく、話題性を持つという努力も必要かと思います。

卒業生も多くいますので、そういう繋がりが出来るのではないのでしょうか。検討してください。

### 報告第90号 平成29年（平成28年度）成人式について

#### ○谷口委員長

報告第90号 平成29年（平成28年度）成人式について、事務局から説明をお願いします。

#### ○西尾生涯学習課長

報告第90号につきましては、平成29年（平成28年度）成人式についてです。

成人の日を迎えるにあたり、本市在住の新成人を招待し、成人としての認識を深めること、前途を祝福激励する場ということで開催しています。日時は、平成29年1月9日の午前11時から正午までです。対象者は、平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた男性1,157人、女性1,078人の計2,235人です。今回の内容は、少しシンプルになっています。幼児マーチングとくす玉割を山直南こども園にお願いし、国歌斉唱、主催者代表あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、チアリーダー、新成人の誓い、となっています。今回の新成人の誓いは、山直南こども園を卒園、幼児マーチングに参加した男性の方を考えています。受付でPTA協議会、会場内整理・

誘導で青年団協議会、もちつきで青少年指導員協議会、飲み物サービスでこども会育成連絡協議会の協力をいただきます。もちつきについて、ノロウィルスが蔓延してきていますので、その状況を見ながら12月中には協議して決めさせていただきたいと思っています。以前にもノロウィルスが蔓延した時にもちつきが中止となっていますので、それも踏まえうえで対処させていただきたいと思っています。記念品はありません。プログラムについては、前回と同様、産業高校の生徒にデザインをしていただきます。

#### ○谷口委員長

もちつきは、再来年からは保健所の関係で厳しくなると聞いていますが、ノロウィルスの中でも衛生面を考えて出来るのですか。

#### ○西尾生涯学習課長

難しさはあります。もちつき自体が回避されているところが多く、万が一何かあったらということもあります。もちつきは、青少年指導員協議会の約200人の協力で、成人の方に対してお祝いをいただいていることもありますので、その団体とも協議をしながら、どのような形が良いのか話しをしていきたいと思っています。

#### ○中野委員

去年、かわいいプログラムを産業高校の生徒に作ってもらって、新成人にも良い記念になると思いますので、今年も期待しています。

#### ○谷口委員長

晴れ着の方もいますので、良い天気にも恵まれればと思います。

### 報告第91号 第70回岸和田市民駅伝競走大会の実施について

#### ○谷口委員長

報告第91号 第70回岸和田市民駅伝競走大会の実施について、事務局から説明をお願いします。

#### ○藪スポーツ振興課長

報告第91号につきましては、第70回岸和田市民駅伝競走大会の実施についてです。

平成29年1月15日(日)の午前8時30分から開会式、午前10時スタートで、コースは例年通りで葛城運動広場が発着点になり、全20.74kmになります。参加チームは、50チームとしていますが55チーム程度あります。広報きしわだ11号で周知を行い、年明けに競技についての説明等の会議を開催します。

#### ○中野委員

大会実施要項を配布いただき、コース等分かりやすくなりました。その中で、「第三者の力を借りず、自力で指定したコースを走れる者(伴走は禁止)」と「伴走は、いっさい認めない。但し、本協会と事前協議の上、必要と認めた場合はこの限りではない。」とあります。このことに関連して、リオのパラリンピックの陸上マラソンで日本女子選手が銀メダル、男子選手が銅メダルを獲得し、東京でのパラリンピックを目指してさらに選手層を拡げていこうと言われてい

が、『必要と認めた場合』というのは、視覚障害者の選手がガイドランナーと共に走れることを意味しているのでしょうか。

**○藪スポーツ振興課長**

基本的に要項は、主管の岸和田市陸上競技会で考えています。現在、障害者の方が出られるということは聞いていませんが、伴走については公道を走るのに、応援の横を走られると危険であるということもあって書かせてもらっていると思います。障害者の方の参加、伴走者については、審判等の関係者の方に判断していただく部分もありますので、今この場では分かりません。

**○中野委員**

障害者の出場の申込みがあったら、障害者基本法の趣旨に沿って、必要かつ合理的な配慮がなされなければならないということで、実際に申込みがあれば検討が必要になると思います。

**○藪スポーツ振興課長**

運営を陸上競技会にお願いしている中で、対応しかねる部分も出てくるかもしれませんので、そこも含めて今後の検討課題だと思います。

**○中野委員**

その場合、合理的な説明が出来ないといけないと思いますので、その点も含めて検討をお願いします。

**報告第 92 号 岸和田城天守閣の展示について**

**○谷口委員長**

報告第 92 号 岸和田城天守閣の展示について、事務局から説明をお願いします。

**○小堀郷土文化室長**

報告第 92 号につきましては、岸和田城天守閣の展示についてです。

企画展「岸和田に残る文化財―市内の指定文化財―」の展示を行います。現在、企画展「世界かんがい施設遺産 久米田池」を展示していきまして、会期が平成 29 年 1 月 15 日までとなります。その続きとしまして 1 月 18 日（水）から 5 月 21 日（日）までの会期で、岸和田城天守閣 2 階展示室にて今回の展示を行います。展示の趣旨ですが、岸和田市内にあります文化財について指定の文化財を紹介することで、岸和田市には歴史と文化と、このような物があるのだと皆さんに知っていただく機会にしようと考えています。展示史料としまして、兵主神社能面や葛城踊り衣装など約 20 点を予定しています。広報きしわだ 1 月号、ホームページ、ポスター及びちらしで周知を図っていきたいと考えています。また、1 月 17 日（火）は、展示史料の入れ替えのため臨時休場の予定です。

**○中野委員**

本市の文化財で国の指定が 14 件、府の指定が 14 件、市の指定が 45 件ということです。非常に多くの文化財がありまして、展示はその内の約 20 点で、どのように絞られるのか興味を持っています。所有者がいますので、所有者の協力がないと中々実物の展示は難しいと思いましたが、出品目録の資料で良く分かりました。

○谷口委員長

葛城踊りは教育委員会に来てから知りました。もし可能であれば、動画を展示の中で流してもらえればどういうことをしているのかが分かります。衣装だけでは中々分かりにくいと思いますので、動きのあるものは、動画の展示をしてもらえれば有難いと思います。

○小堀郷土文化室長

DVDがございますので、考えてみたいと思います。

○谷口委員長

是非、お願いします。

○中野委員

口上を述べられるので、その内容を文章にしてもらおうと良く分かると思います。

○小堀郷土文化室長

検討させていただきます。

報告第 93 号 特別図書整理による図書館の休館について

○谷口委員長

報告第 93 号 特別図書整理による図書館の休館について、事務局から説明をお願いします。

○玉井図書館長

報告第 93 号につきましては、特別図書整理による図書館の休館についてです。

特別図書整理（蔵書点検）のため、図書館本館及び分館を休館します。旭、八木の分館は、平成 29 年 1 月 18 日（水）から 23 日（月）まで、山直、春木、桜台の分館は、1 月 25 日（水）から 31 日（火）まで、本館は、2 月 5 日（日）から 13 日（月）までです。特別図書整理期間の選定につきましては、図書館利用者の比較的多い時期、ゴールデンウィーク及び年末年始を避けて選定しました。また、利用者の利便性を考慮し、本館と分館で時期をずらして選定しています。周知方法は、広報きしわだ 1 月号、図書館だより、ホームページ、各図書館内掲示、としょかんカレンダーで行います。告示では、旭、八木図書館は 22 日（日）まで、本館は 12 日（日）までと特別図書整理期間の記載をしていますが、翌月曜日は通常の休館日にあたり市民へ分かりやすくするために広報きしわだやホームページ等では休館の期間を掲載しております

○谷口委員長

何かご意見等ございませんか。

報告は以上になりますが、他に何かありませんか。

○山本学校給食課長

先月の定例教育委員会会議の議案第 51 号の学校給食調理等委託業務の債務負担行為補正について、ご審議、承認いただきましたが、限度額 275,019 千円以内が 267,280 千円以内に変更がありましたのでご報告いたします。

### ○松村学校教育課長

今年度の学力向上実践交流会を12月27日(火)、浪切ホールで開催いたします。実践報告の「岸和田市専科加配教員による実践報告」では、岸城、葛城中学校の先生に“専科による実践”の話しを、「小中連携の取組みについて実践報告」では、桜台中学校区の取組みとして、桜台中学校、光明、常盤小学校の先生にお願いしています。その後、「幼少中連携で育む学びの力(仮題)」をテーマに関西学院大学教育学部教授 佐藤真先生に講演をお願いしています。

次に、科学技術教育センターが、来年1月から新たに天神山幼稚園跡に移ります。1月4日に移転し、名称も「岸和田市教育センター」に変わります。電話は1月4日の午後から新たな電話番号で開設します。また、1月10日から研修を受付けて行っていこうと考えています。基本的には公共交通機関を使っていただきますが、やむなく車を利用のときには、園庭に止めていただくことも可能となっています。駐車台数は約35台で、各校1台ずつの利用は可能です。

最後に、先月の定例教育委員会会議で報告させていただきました第81号の“保護者向けリーフレット”ですが、ご指摘いただきました部分を反映しまして、新たに作成出来ましたのでお配りさせていただきました。

### ○中野委員

報告とお礼を申し上げます。先週9日(金)ですが、大阪高等学校生物教育研究会の実験研修会が市立公民館で実施されました。内容は、自然資料館の学芸員の「大阪湾の生き物とチリメンモンスター」の講義に続いて、実験研修で「チリメンモンスター探し」というのを実施してもらいました。加えて、ネイチャーおおさかのボランティアの方6名も参加していただきました。参加者は大阪北部からもあり、総勢48名で身動きが出来ないくらい盛況でした。大阪市立自然史博物館からも、研修の様子を見学したいということで2名の学芸員が来られていました。実験研修の後、参加者に自然資料館の見学を行いました。そのように大阪府内の国公立、私立の高校の先生方が、自然資料館の成果を学校へ持ち帰って紹介してもらえるとということで、非常にうれしいことで意義のあることだと思えました。私は、研究会の元会長で、現在はOB会の会長でもあります。併せて、施設の所管の教育委員会委員としての二つの立場で参加して、特に生涯学習部、郷土文化室、生涯学習課にお世話になり有難うございました。

### ○谷口委員長

中野委員は色々されていて、本市の施設を紹介していただければ有難いと思いますので、よろしくをお願いします。

### ○野口委員長職務代理者

岸和田市教育センターの内容についてですが、エスパルもここへ行くのでしょうか。資料の配置図のどこで活動されるのですか。

### ○松村学校教育課長

玄関に入って1階の一番奥の活動室等になります。

## ○谷口委員長

2月に教育委員会で視察に行かせてもらうことになっていますので、よろしくお願ひいたします。

他に何かありませんか。ないようですので、議案の審議に移ります。

## 議案第 57 号 平成 29 年度当初予算要求について

### ○谷口委員長

今回の予算要求とこれまでと決定的に違うのが、総合教育会議において市長を交えて教育大綱を決定し、それに基づくことになっているところであると思います。市長を交えてということは、公約的なところもあり、それに基づいて要求することは、かなり説得力があるのではないかと思います。そういうところを踏まえての要求になっていると思いますので、その点を含めて説明していただければ有難いと思いますので、よろしくお願ひします。

議案第 57 号 平成 29 年度当初予算要求について、事務局から説明をお願いします。

### ○各担当課長

【歳出・歳入の順に、特に重要な事業、前年度と変わった事業、新規事業について、教育大綱及び教育重点施策も踏まえて主なものを説明】

### ○河野委員

基本的なところですが、“主要”とはどのような意味でしょうか。

### ○大西教育総務課長

施設の整備や新規事業については、通常の前年度とは別のヒアリングがあります。そこへ持っていく事業を“主要な事業”と言っています。臨時的、新規の事業については、別建てで要求することになっていますので、“主要施策”と呼んでいます。

### ○中野委員

主要の説明がありましたが、教育大綱の絡みから言えば全部主要だと思います。今年度、非常に期待しています。従来通りの予算で順位を付けることになれば、今までと何も変わらないと思います。そういうことが無いように願ひたいと思います。

歳入の府補助金“学力向上支援事業費補助金”が、平成 27 年度、28 年度に 1,500 千円あったが、29 年度は「0」になっています。大阪府は学力向上しなくて良いという意味なのか、「0」になった理由が分かりません。国庫補助金の“学力向上支援事業費補助金”は、若干増えているが、どのような考えがあったのか教えていただきたい。

### ○松村学校教育課長

大阪府の“学力向上支援事業費補助金”ですが、学力向上にかかわる費用の 3,000 千円を上限額として 2 分の 1 の補助率で、今まで 1,500 千円いただいていたのですが、来年度の補助金につきましては、大阪府は「0 査定」ということでこの事業の補助金は出ないということです。その代わりに事業を考えているところで、“学力向上支援事業費補助金”はない、と連絡を受けていますので、今回、計上することはできません。



国庫補助金は、理科実験補助員に対する3分の1の補助金で、昨年度よりも増額になっているのは、歳出の補助員の時間数を増やしていますので、上がっている費用の3分の1の額を計上しています。

○中野委員

大阪府の学力向上の具体の事業が、何かの形で出てくる可能性があるということですか。

○松村学校教育課長

学力向上事業も今までやってきたものが、厳しい状況があるということで、事業を変えて出てくるといふ動きがあるということで注視しているところです。

○中野委員

一時、大阪府は緊急事態というようなことを言っていましたので、まだまだ済んでいない事業だと思しますので、こちらのほうも頑張らないといけないと思います。

府補助金“特別支援教育支援事業費補助金”ですが、平成27年度、28年度と830千円で、29年度553千円と減額になっています。学校現場で看護師の配置をしてもらって非常に心強いと校長から聞いていますので、減額になって事業が低下しないように何らかの形で補う必要があるのかと思います。

続いて、雑入“リーダー養成事業参加負担金”で、要求内容に“中学生キャンプ開設”となっています。これは個人参加の負担金なのでしょうか。

○西尾生涯学習課長

キャンプを春、夏、秋に、またリーダー研修もやっています、応分の参加費用の負担になります。

○中野委員

個人負担にするとまとまった金額になって、子供のお小遣いでは賄えないような金額だと思います。関連しまして、9月の定例教育委員会会議で青少年問題協議会において、中学生問題が取り上げられました。特に中学生の所属する機関が少ない、リーダー養成が上手くいっていないなどの説明がありました。この中学生キャンプについては、あくまで個人参加ということですね。

○西尾生涯学習課長

そうです。

○中野委員

地域性は出てこないのですか。

○西尾生涯学習課長

岸和田市内になりますので、色々なところから子供が来ていただいています。

○中野委員

そういうことから考えて、新たな仕組みとして地域性を考え、各中学校から参加者を推薦してもらうことで地域性が考えられます。また、費用については市が負担する。そういう新たな仕組みを検討していただければと思います。リーダー講習やリーダー養成とか中学生問題を絡めると、そういう新しい仕組みを、すぐにはできないと思いますが、そういう方法の検討をお願いしたい

と思います。

雑入“日本海事科学振興財団による支援（海の学びミュージアムサポート）”で、平成28年度に3,490千円で、29年度440千円で大幅な約3,000千円の減少となっています。昨年、自然資料館普及や展示史料に充当していると聞きました。この減額が自然資料館の活動の低下に繋がらなければ良いが、歳出で今年度並みの予算しか組めていないような気がしますので、少し不安になるのですがどうでしょうか。

#### ○小堀郷土文化室長

事業計画自体について、企画展、巡回展の年間計画は、ほとんど今年度並みの計画を考えています。歳入が約3,000千円変わったのは、企画展をするときの予算で顕微鏡や望遠鏡を購入する金額が載っていましたが、29年度はそういう物は一切買わずに光陽中学校との研究活動に使っていく内容で、海の学びミュージアムサポートの助成金を受けての事業を組み込んでいます。金額の差は、物を購入する費用が少なくなっていますが、事業自体は今年と同じ内容、回数は継続する内容になっています。

#### ○中野委員

少し逸れますが、ノーベル医学生理学賞を受賞された大隅先生も、光学顕微鏡で観察するところから始まっています。子供たちにもそういう活動を、是非、広げてもらえたらと思います。光陽中学校のヤドカリの研究ですが、非常に熱心な顧問の先生がいて聞いていますので、さらに発展していくことを願うところです。歳出で挙がっています内容については、今年度の活動を考えた上での要求であれば、削られることのないように頑張ってもらいたいと思います。

#### ○谷口委員長

丁寧に説明いただきまして、大きく変わったところの理由は分かりました。

3目 研究所費“副読本指導資料作成等事業”が大きく減額となっていますが、児童数の減少によるものか、それとも副読本をあまり作らなくなったということでしょうか。

#### ○松村学校教育課長

これは、小学3年生、4年生の社会科副読本がありますが、平成28年度は編集・作成のための費用が入っていました。29年度は、それを保管・配布する費用になっていますので、その分、減少しています。

#### ○谷口委員長

7目 教育振興費“特別支援教育事業”が大きく増額となっていて、この間、人権教育課長に講義いただいて、教育委員が必要を感じているところですので、この要求は是非とも通ってほしいと思います。

29年度「0」の部分は、少しの額を要求して事業を残すことはしないのですか。「0」でも構わないのでしょうか。必要になった時点で要求すれば良いということでしょうか。

#### ○小山教育総務部長

素直に減額しているだけです。必ずしていく事業で、必要な金額が分からない場合には、千円でも付けて事業は残しておくのですが、それ以外のなくなった分は「0」としています。

○谷口委員長

また出てくる可能性はあるのですか。

○小山教育総務部長

事業番号は生きていますので、必要があれば出していくことができます。

○谷口委員長

2目 教育振興費（中学校）“外国語活動事業”で、1年を通じて11人に増員要求ということでしたが、去年も同じ要求があつて、半期であつたのが全期になつたということですか。

○松村学校教育課長

去年も要求したのですが、半期だけの5.5人分だけ付きまして、現在、それでしているところ  
です。29年度、もう一度要求をします。

○中野委員

今の“外国語活動事業”については、総合教育会議で市長に直訴していますので、このまま認  
めてもらえると思います。同じように総合教育会議で触れました、3目 研究所費“教職員研修・  
育成事業”の教育フォーラムが軌道に乗っていて継続、充実する方向でお願いしたいと話してい  
ます。

“児童生徒育成支援事業”については、支援人材の配置ということで、スクールカウンセラー、  
スクールソーシャルワーカー、校長OBや警察OBまで加えましたが、実際に総合教育会議の中  
で具体的に話しをしています。

“読書活動事業”ですが、去年も図書館コーディネーターを計上してもらいましたが、叶いま  
せませんでした。学力向上にも繋がる事ですので、是非、実現してもらいたいと思います。

3目 青少年対策費“青少年対策事業”ですが、子供の通学上の安全・安心ということから、  
これも去年叶わなかった内容です。何か起こってからでは遅いので、是非、充実させてもらいた  
いと思います。

4目 教育振興費（高等学校）“外国語教育事業”で、内容として「ALTのJETプログラ  
ム雇用」となっています。これと歳入の雑入“住宅敷金精算金等収入”の内容に「平成29年度  
はJET活用によるALTがない」とあつて、この関係はどうなっているのでしょうか。

○松村学校教育課長

歳入の“住宅敷金精算金等収入”は、中学校のALTの事を言っています。

○野口委員長職務代理者

歳入の原子力・エネルギーに関する教育支援事業に関する補助金が「0」になっていますが、  
去年、いつまで続くのか尋ねると「こちらが希望すれば続きます」との返事でしたが、29年度は  
希望しないということになっています。去年の話ではまだ続いていくと思っていましたが、29  
年度「0」ということは、各学校にこれに関する事業が行き渡つたということですか。

○松村学校教育課長

一定、この事業で受けています備品や実験のための教材等は、希望の学校にいつています。今  
後は、活用していつてもらわなければいけないということで、一旦、この希望は28年度までと

して 29 年度取り下げて、理科実験補助員の時間増でしっかりと活用していく方向でいかなければならないという判断をしました。

**○野口委員長職務代理者**

この事業を受けるにあたっては、学校も色々しなければいけないことがたくさんあったように聞いていますので、その辺では適切な判断かと思えます。

**○中野委員**

この費用は、何でも自由には買えるのではなくて、実際には縛りがあって使いにくい部分があったのですね。

**○松村学校教育課長**

29 年度はさらに縛りがきつくなってきている部分があり、本当に買いたい物が中々買えないことがありましたので、そのように判断しました。

**○野口委員長職務代理者**

府補助金“被災児童就学奨励費補助金”で、小学校及び中学校に各 1 名在籍見込みとありますが、福島県からの避難者が来られるということですか。

**○大西総務課長**

通常の就学奨励費補助金に被災児童分を入れていましたが、分けるよう指示がありましたので分けました。現在、実際に在籍しています。

**○樋口教育長**

教育委員のみなさんと共に市長を交えまして、総合教育会議で色々議論をさせていただいて、教育環境の整備について常々市長に言っていただいていますので、人的な面、ハード面について出来るだけ充実をと思っています。市の予算は限りがありますので、中々、全てにという訳にはいきませんが、メリハリをつけた予算編成をやっていただけるようにしっかりと伝えていけたらと思います。ご審議、有難うございます。

**○谷口委員長**

他に何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。原案の通り、頑張ってくださいと思います。

全ての案件が終了しました。これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

**閉会 午後 5 時 10 分**

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員